

# 誰でもできる聞き書きボランティア講座 レポート



講師  
「The座」編集者（井上ひさし）まつ座創立参加。機関紙  
編集者（井上ひさし）まつ座創立参加。機関紙  
小田 豊一 氏

現在連載中の作品  
MOKU「にっぽん人情小断」  
エクラ「勘九郎夢がたり」

聞き書きはお互いに好きじゃない相手では成立しません  
聞き書きは、語り手の話したいことをしゃべってもら  
うのが肝心です。できる限り、相手の背景など予備知識を  
もっていきます。それから、相手に気分よくしゃべって  
もらうために聞き手は、ことばの薬箱を持って行きます。  
どの言葉が、語り手に効くか試してみるのです。

「おばあちゃん、子供のころどんな遊びした？」

「ゴムとび？コムとびって、うた歌うんだよね！」

一つの言葉に相手が増えてきたらそこからその話題を  
掘り下げ、広げていくんです。

聞き書きは楽しくなくちゃいけません。その人の自慢な  
こと楽しみなことを残してください。

つらいことを話すこともある、家族への恨み言は話した  
としても書かないですよ。

学生のととき国語の通信簿5をとったことのない人は、  
自信持って聞き書きかいてください。聞き書きは文章力より  
より、語り手が話す様子をいかにありありと表現するか  
かです。だから、しゃべり言葉で書く、その人にあなたが  
なりきって書くんです。

- ▶ 語り手の気持ちになって聴く【集中的傾聴】
- ▶ 情景を思い浮かべながら聴く【映像的想起】
- ▶ 相手の話に弾みをつける【共鳴】
- ▶ 語り手から学ぶ姿勢【好奇心＝今日会う人は私の先生】



- 小田先生は、踊ったり歌  
ったり、おばあさんにな  
って苦勞を語ったり、森  
進一を憑依させたり、会  
場が一つになってどっと  
笑い涙する、ジェットコ  
ースターのように楽しい  
講演で時を忘れました。



参加者が休憩している間に 50 人近くの  
聞き書き練習の原稿を添削・・・添削・・・



参加者は、講師の語りに引き込まれていく

